

研究課題名： 胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究

所属(診療科等)： 公立昭和病院 産婦人科

研究責任者(職名)： 塚崎 雄大 (医長)

研究期間： 2019年3月13日～2019年6月30日

研究目的と意義： 胞状奇胎は、絨毛が水腫状に腫大し栄養膜細胞の異常増殖を伴う異常妊娠で、発症頻度は1000妊娠あたり約2とされ、本邦での症例数は2000例/年と推定されています。部分奇胎からの続発症は稀ですが、全奇胎は10～20%に続発症を発症し、嫡出後も慎重な経過観察を要します。この研究は、本邦の多施設における胞状奇胎症例の掻爬回数と続発症の頻度を後方視的に解析することを目的とし、最終的には、解析結果を踏まえ、再掻爬の要否と選別につき提言可能となる指針を作成することを目指しています。

研究内容： ●対象となる患者さん
2014年1月1日から2016年12月31日までに、当院で胞状奇胎除去術を施行した患者さん

●利用するカルテ情報
診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等

●研究方法
当院で胞状奇胎除去術を施行した患者さんの受診時のデータについて後ろ向きに検討を行う。

●利用する研究機関の範囲
公立昭和病院、福岡大学医学部

問い合わせ先： 【研究担当者】
氏名：塚崎 雄大 (産婦人科医師)
住所：小平市花小金井8丁目1番1号
電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912
【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)
総務課 042(461)0052 内線2247
受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)

